

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	ひとにやさしいまちづくり条例関連事業			事業コード	0785
担当課等	所属名	都市整備部 建築指導課	担当係名		
	課長名	武藤 功	担当者名	斉藤伸子	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	快適な居住環境の実現	コード 3
	基本事業	良好な住宅地の誘導	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 8款 5項 4目 建築指導事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 8年度～)					
事務事業の概要	ひとにやさしいまちづくり条例(通称:ひとまち条例)及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(通称:バリアフリー新法)に基づく、主に特定建築物等(不特定かつ多数のものが利用し、または主として高齢者、障がい者等が利用する特定建築物)において、移動等円滑化が特に必要なものとして規則で定めるもの)の新築等をしようとする者からの届出に対して、指導・助言を行なう。					
根拠法令等	「ひとにやさしいまちづくり条例」平成7年7月14日岩手県条例第41号 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」平成18年12月20日施行					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
岩手県が「ひとにやさしいまちづくり条例」を制定したことに伴う事務委譲で、平成8年4月1日から実施している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
平成18年1月に発覚したホテル東横インによる偽装工事事件により、盛岡市内の公共的施設等においてもコンプライアンスされているが市民の関心も高い。また市議会においても、市内の建築物がどれだけ「ひとまち条例」や「バリアフリー新法」に適合しているのを取り上げられた。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどのように変化したか。今後の見通しはどうか						
平成18年に「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律(通称:ハートビル法)」から「バリアフリー新法」に移行された。旧法では円滑に利用できる建築物の建築の促進を目的としたが、新法は建築物のみならず移動上及び施設の利用上及び利便性を向上することで高齢者・障がい者の社会参加の機会を確保することを基本方針としている。 これに伴い、「バリアフリー新法」の内容を踏まえた現行の「ひとまち条例」を、平成20年7月1日から施行し、新たに整備基準の一部や完了検査等が追加された。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 特定公共的施設の新築等の届出件数 B. バリアフリー新法による認定申請件数 C.	単位 単位 単位	件 件 件
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. ひとまち条例の届出に対する指導・助言件数 B. ひとまち条例の適合証交付請求件数 C. バリアフリー法による認定件数	単位 単位 単位	件 件 件
⑤意図 (この事業により何をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 指導・助言に対する改善件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. ひとまちの適合証交付件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 C. バリアフリー法の認定通知書交付件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位 単位 単位	件 件 件
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献する)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市街化区域内における未利用地面積(単位:ha)		

【か】 | | | |

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	特定公共的施設の新築等の届出件数	件	55	58	80	52	80	80	25年度 80
対象 指標B	バリアフリー新法による認定申請件数	件	2	0	2	1	2	2	25年度 2
対象 指標C									年度
活動 指標A	ひとまち条例の届出に対する指導・助言件数	件	55	58	80	52	80	80	25年度 80
活動 指標B	ひとまち条例の適合証交付請求件数	件	1	0	2	0	2	2	25年度 2
活動 指標C	バリアフリー法による認定件数	件	2	0	2	1	2	2	25年度 2
成果 指標A	指導・助言に対する改善件数	件	8	12	19	10	19	19	25年度 19
成果 指標B	ひとまちの適合証交付件数	件	1	1	2	0	2	2	25年度 2
成果 指標C	バリアフリー法の認定通知書交付件数	件	2	0	2	1	2	2	25年度 2

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	0	0				*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	0	0	0				*****
	延べ業務時間数	時間	570	580	820	530	820	820	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,280	2,320	3,280	2,120	3,280	3,280	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	2,280	2,320	3,280	2,120	3,280	3,280	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 理由: 特定建築物等の整備を推進することで、高齢者、障がい者を含む、国民だれもが安心して生活し、積極的に社会活動に参加できるまちづくりが形成されている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 理由: ひとまち条例は、対象建築物等を整備しようとする者に対して理解と協力をお願いするものであり、現条例の範囲内でしか期待できない。新築等の際は届出は義務であるが、整備基準に適合させるか否かは努力義務である。ただし、完了後の検査の実施を行っており、より整備者に対してユニバーサルデザインの推進に理解を得られることを期待している。 また、ひとまち条例の公共的施設整備基準は、バリアフリー新法の移動等円滑化基準に比べ整備項目が多く、より詳細なものとなっている。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: ひとまち条例は、県からの委任事務である。またバリアフリー法の認定事務は特定行政庁(建築主事を置く市町村の長)が行なう事務である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成18年よりひとまち条例の対象建築物等及びバリアフリー新法の対象となる特定建築物等の整備範囲が拡大し、今後も申請数及び認定数の増加が予想される。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること ひとまち条例及びバリアフリー新法を通じて、ユニバーサルデザインについてより県民理解を促進する ②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) ユニバーサルデザインについてはまだまだ県民理解が不足しているため、県や他の市町村と連携した県民意識の啓発の強化が必要である。また整備基準遵守を担保するための仕組みや、整備事業者の意識啓発を促進する必要もある。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 建物の内部や「まちなか」において、歩行や移動の際に、特に高齢者や障がい者に配慮された施設空間の整備が求められている。		
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> 方向付けの理由と改革改善の内容 届出に対し、指導・助言の審査日数の迅速化に努める。		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			